



# 第7回土砂災害に関するシンポジウム

開催日：2014年9月26日(金) 9:00~17:40  
2014年9月27日(土) 8:30~17:50

会場：鹿児島大学稲盛会館



国土地理院撮影

演題例 【緊急災害報告】2014年8月20日に発生した広島市の大規模土砂災害について 砂防学会調査団長 海堀正博  
最近の激甚な土砂災害対策の特徴と対応の課題 (独)土木研究所 小山内信智  
土砂災害の時間経過と避難に関する研究 (独)土木研究所 秋山玲子ほか  
スパコンを用いた自然災害被害予測シミュレーションの現状 九州大学大学院工学研究院 浅井光輝

スライドなどで、災害の状況や解析を実感できるシンポジウムです。

お申し込みは、お早めに **締切日 9月19日**

**参加費:4000円 交流会:5000円** HP 土木学会西武支部>土砂災害に関するシンポジウム>(プログラム・ご案内はこちら)[http://committees.jsce.or.jp/seibu\\_s01/](http://committees.jsce.or.jp/seibu_s01/) から案内や資料をダウンロードできます。

申し込み先:092-717-6031(土木学会西部支部)

主催：公益社団法人土木学会西部支部 共催：公益社団法人砂防学会

後援：公益社団法人地盤工学会，公益社団法人日本地すべり学会，一般社団法人日本応用地質学会，日本自然災害学会，一般社団法人水文・水資源学会，公益社団法人日本技術士会九州本部



# 第7回土砂災害に関するシンポジウム

開催日：2014（平成26）年9月26日（金） 9:00～17:40  
2014（平成26）年9月27日（土） 8:30～17:40

近年、2003年九州豪雨災害、2004年新潟・福島豪雨災害、2005年宮崎豪雨災害、2006年鹿児島県北部豪雨災害、2009年中国九州北部豪雨災害、2011年台風12号災害、2012年九州北部豪雨災害、2013年伊豆大島災害、2014年長野県南木曾町災害のように土砂災害が頻発しています。

土木学会西部支部では、2002年度から、「土砂災害に関するシンポジウム」を隔年で開催し、土砂災害の危険度評価や予知・予測法などについて広範な分野からの参加を募り、学際的見地から発表・討議を行って参りました。2014年度におきましても、砂防、地盤、河川、水文・気象、地形・地質、防災工学など広範な分野からの参加を募りシンポジウムを開催することとなりました。奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

## 記

- 主催**：公益社団法人土木学会西部支部 **共催**：公益社団法人砂防学会
- 後援**：公益社団法人地盤工学会、公益社団法人日本地すべり学会、一般社団法人日本応用地質学会、日本自然災害学会、一般社団法人水文・水資源学会、公益社団法人日本技術士会九州本部
- 開催期日**：2014年9月26日（金）、9:00～17:40  
27日（土）、8:30～17:40
- 開催場所**：鹿児島大学稲盛会館（下記15を参考にしてください）
- CPD（土木学会）、CPDS（全国土木施工管理技士会連合会）**：1日目：8P、2日目：8P

## 6. プログラム：

### 9月26日（金）

- 9:00～9:10 開会挨拶 「第7回土砂災害に関するシンポジウム」実行委員長 下川悦郎
- 【セッション1 斜面崩壊、危険斜面の抽出】**
- 9:10～9:30 傾斜地の迅速かつ経済的な地形測量法の提案  
第一工業大学 田中龍児・岡林巧  
鹿児島大学工学部 山本健太郎
- 9:30～9:50 地質の違いを考慮した山地溪流における河道幅の推定方法に関する研究  
京都大学大学院農学研究科 原田紹臣・中谷加奈  
立命館大学理工部 里深好文  
京都大学大学院農学研究科 水山高久
- 9:50～10:10 積雪層を介した土砂移動の振動検知に関する実験的検討  
(独) 土木研究所寒地土木研究所研究連携推進監 藤浪武史  
(独) 土木研究所寒地土木研究所寒地水圏研究グループ 阿部孝章・船木淳悟
- 10:10～10:30 山口県防府地域における大規模土石流の発生周期  
アジア航測株式会社西日本コンサルタント部 阪口和之  
山口大学教育学部 楮原京子  
復建調査設計株式会社地盤環境部 松木宏彰  
山口大学大学院理工学研究科 鈴木素之

[10:30~10:40 休 憩]

10:40~11:00 2011年新燃岳噴火後の降下テフラによる地形変化

福岡教育大学 黒木貴一  
西南学院大学 磯 望  
志學館大学 宗 建郎  
西南学院大学 黒田圭介  
大阪教育大学 後藤健介

11:00~11:20 火山灰・降下軽石被覆斜面の表層崩壊跡地での森林生態学と地盤工学的観点からの調査  
鹿児島大学大学院理工学研究科 山本健太郎  
鹿児島大学農学部 寺本行芳  
基礎地盤コンサルタンツ(株)大分事務所 永川勝久  
鹿児島大学農学部 平 瑞樹

11:20~11:40 大本山永平寺の森における表層崩壊危険度と森林の生育状態  
パシフィックコンサルタンツ(株)地盤技術部 斉藤泰久・新貝文昭・上野紗綾子  
大本山永平寺禅の里事業推進室 原田光則  
森ビル(株)設計統括部 塩原孝英

11:40~12:20 【基調講演】不飽和土の力学特性について～斜面安定解析への適用を視野に入れて～  
元鹿児島大学 北村良介  
鹿児島大学大学院理工学研究科 酒匂一成

[12:20~13:20 昼 食]

13:20~13:40 薩摩半島のシラス分布域における崩壊の地形的特徴  
東京大学大学院新領域創成科学研究科 五十嵐隆亮・須貝俊彦  
鹿児島大学大学院理工学研究科 井村隆介

13:40~14:00 斜面崩壊に関わる未固化期変形帯について  
復建調査設計株式会社九州支社 吉村辰朗・福田直三

14:00~14:20 球磨川沿いの深層崩壊・地すべりと断層破碎帯の関係性について  
復建調査設計株式会社 吉村辰朗  
アジア航測株式会社 吉川智彦・小汐真由美  
熊本大学 北園芳人

14:20~14:40 深層崩壊跡地の崩壊過程の考察－奄美大島北部の事例－  
(株)ハウセイ・技研 三田和朗・有村健吾・松元啓輔

[14:40~14:50 休 憩]

### 【セッション2 豪雨に起因した斜面崩壊・土石流の発生】

14:50~15:30 【基調講演】最近の激甚な土砂災害等の特徴と対応の課題  
(独)土木研究所土砂管理研究グループ 小山内信智

15:30~15:50 平成24年6月鹿児島県肝付町で発生したまさ土地帯の地すべり災害事例について  
(株)日本地下技術 原田康弘・本田信孝・緒方康浩

15:50~16:10 土石流の氾濫・堆積に及ぼす家屋の影響－平成24年7月熊本県阿蘇市土井川で発生した土石流を対象として－  
京都大学大学院農学研究科 中谷加奈・小杉 恵  
国土技術政策総合研究所 内田太郎  
立命館大学理工学部 里深好文  
京都大学大学院農学研究科 水山高久

16:10~16:30 平成25年山形・新潟豪雨に伴う土砂災害調査  
東北大学大学院環境科学研究科 里見知昭・佐藤優樹・高橋 弘

[16:30~16:40 休 憩]

- 16:40～17:00 平成 25 年伊豆大島豪雨災害時の表層崩壊・土石流の地盤振動及び発生位置推定手法  
 独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ火山・土石流チーム  
 高原晃宙・木下篤彦・水谷 佑・石塚忠範  
 国土交通省北陸地方整備局河川部 石田哲也  
 株式会社エイト日本技術開発 海原荘一  
 株式会社かなめ技術開発 浅原 裕
- 17:00～17:20 2013 年 7 月島根県津和野町名賀川流域で発生した流木氾濫に関する調査  
 九州大学大学院工学府 楠窪正和  
 大分県 赤野久志  
 九州大学大学院工学府 ムハマド イスラミ ルシダ・池松伸也  
 八千代エンジニアリング (株) 永野博之  
 九州大学大学院工学研究院附属アジア防災研究センター 橋本晴行
- 17:20～17:40 レーダー・アメダス及び自己組織化マップを用いた阿蘇市における土砂災害の要因分析  
 九州大学大学院工学研究院社会基盤部門 笠間清伸  
 九州大学大学院工学府建設システム工学専攻 川上 司  
 九州大学大学院工学研究院環境社会部門 西山浩司

★18:00～20:00 交流会：ジェイドガーデンパレス (下記 1 6 を参考にしてください)

**9月27日 (土)**

**【セッション 3 画像解析, 監視システム, ハザードマップ】**

- 8:30～8:50 赤色立体地図とガンマ線探査による断層抽出の試み  
 アジア航測株式会社 吉川智彦  
 復建調査設計株式会社 吉村辰朗  
 アジア航測株式会社 小汐真由美  
 熊本大学 北園芳人
- 8:50～9:10 斜面崩壊危険度評価における赤色立体地図の利用  
 日本地研株式会社 末続真依  
 熊本大学 北園芳人  
 アジア航測株式会社 平川泰之  
 日本地研株式会社 佐藤秀文
- 9:10～9:30 ALOS パンシャープンステレオペア画像を用いた実体視判読  
 ～微地形および斜面崩壊地を例に  
 西南学院大学 黒田圭介  
 福岡教育大学 黒木貴一  
 志学館大学 宗 建郎  
 西南学院大学 磯 望  
 大阪教育大学 後藤健介
- 9:30～9:50 C C T Vカメラ画像データを利用した水位・流速計測手法の検討  
 国際航業 (株) 岩波英行・佐藤 匠・本間信一・本田謙一・原口勝則  
 国土交通省関東地方整備局富士川砂防事務所 光永健男・守谷武史
- 9:50～10:30 【特別講演】鹿児島県の土砂災害対策について～総合的な土砂災害対策の推進～  
 鹿児島県土木部砂防課 植野利康・谷口浩幸・阿部和矢

[10:30～10:40 休 憩]

- 10:40～11:00 2012年7月九州北部豪雨における中山間地の災害シナリオ  
九州大学大学院工学研究院附属アジア防災研究センター 橋本晴行  
九州大学大学院工学府都市環境システム工学専攻 大仲 修
- 11:00～11:20 土砂災害の時間変化と避難に関する研究  
独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ 秋山怜子・木下篤彦・高原晃宙・石塚忠範  
日本工営株式会社中央研究所 一言正之・杉山 実
- 11:20～11:40 表層崩壊リアルタイムハザードシステムの構築における課題と対策  
一般財団法人建設工学研究所 沖村 孝  
神戸市立工業高等専門学校 鳥居宣之  
応用地質株式会社 中川 渉  
国際航業株式会社 原口勝則・笠原拓造  
応用地質株式会社 山内政也・嵯峨根朋子・伊藤正美
- 11:40～12:00 中山間地集落を対象とした降雨パターンと土砂移動を考慮した土砂災害ハザードマップの作成  
豊橋技術科学大学大学院 河邑 眞  
福井工業高等専門学校 辻子裕二・辻野和彦  
ジェイアール東海コンサルタンツ(株) 村林雄太
- 12:00～12:20 防災意識の啓発を促す住民参加型防災マップの作成  
応用地質株式会社 嵯峨根朋子  
野迫川村 市橋寿人  
応用地質株式会社 山内政也

[12:20～13:20] **昼 食**

**【セッション4 流域土砂管理, 土砂災害対策】**

- 13:20～13:40 土砂生産のタイミングが河床変動に及ぼす影響に関する数値計算  
国土技術政策総合研究所 丹羽 諭・内田太郎・蒲原潤一  
立命館大学理工学部 里深好文
- 13:40～14:00 ダム貯水池への流入土砂量の把握に関する研究  
九州電力株式会社耳川水力整備事務所 吉武宏晃・吉村 健・加来睦宏  
九州大学大学院工学研究院 池見洋明・三谷泰浩
- 14:00～14:20 地下水の浸透流に着目した土石流発生原因の検討  
株式会社ケイブラブ 河内義文  
山口大学大学院理工学研究科 鈴木素之
- 14:20～15:00 **【招待講演】** スパコンを用いた自然災害被害予測シミュレーションの現状  
九州大学大学院工学研究院 浅井光輝

[15:00～15:10] **休 憩**

- 15:10～15:30 分布型流出モデルを用いた佐波川流域における斜面地中水貯留高と斜面崩壊に関する考察  
徳島大学大学院 田村隆雄  
株式会社レールテック 上杉明大  
徳島大学大学院 武藤裕則
- 15:30～15:50 山地源頭部における溪床堆積物中の水分動態および土砂流出に関する研究  
立命館大学理工研究科 速見 智・里深好文・藤本将光  
京都大学工学研究科 堤 大三
- 15:50～16:10 穴あきパイプを挿入した盛土の浸透流解析  
九州大学大学院工学府建設システム工学 中村大樹  
九州大学大学院工学研究院 笠間清伸

西日本高速道路株式会社九州支社 浜崎智洋  
九州大学大学院工学研究院 古川全太郎

- 16:10～16:30 バルク法における蒸発効率 $\beta$ の水分依存性に関する室内試験  
鹿児島大学大学院理工学研究科 森岩寛稀  
鹿児島大学大学院理工学研究科 酒匂一成
- 16:30～16:50 東日本大震災で発生した津波堆積土砂の浚渫と再資源化に関する実施工事例  
東北大学大学院環境科学研究科 高橋弘・里見知昭  
(株) 森環境技術研究所 柴田聡・森 雅人
- 16:50～17:10 九州北部豪雨災害時の護岸流失による農地被害調査と石積み擁壁の復旧工法の検討  
鹿児島大学農学部 平 瑞樹  
鹿児島大学大学院理工学研究科 山本健太郎  
基礎地盤コンサルタンツ(株) 永川勝久
- 17:10～17:30 拡開型地中アンカーの開発に向けた室内モデル実験  
独立行政法人防災科学技術研究所 檀上 徹  
立命館大学理工学部 寺本龍生  
立命館大学院理工学研究科 宮島佳之  
株式会社中蔵 福島信夫  
立命館大学理工学部 藤本将光・深川良一
- 17:30～17:40 閉会挨拶 「第7回土砂災害に関するシンポジウム」実行委員会幹事 橋本晴行

**7. 参加費** : 4,000 円 (論文集代 2,000 円を含む)

**8. 定員** : 200 名程度

**9. 駐車場** : 15. シンポジウム会場案内および 16. 交流会会場案内を参考にしてください

**10. 交流会** : 9月26日シンポジウム終了後、ジェイドガーデンパレスにて開催します(18:00～20:00)  
会費 5,000 円 (当日シンポジウム会場で徴収します)

**11. 参加申込方法** : 下記の申込用紙に所定事項をご記入の上、FAXもしくはE-mailでお申込みいただき、参加費は現金書留、銀行振込もしくは郵便振替でお願いします。

・銀行振込 : 西日本シティ銀行 赤坂門支店 普通 1134463 公益社団法人土木学会西部支部

・郵便振替 : 01710-5-30332 公益社団法人土木学会西部支部

入金確認後、FAXで参加証をお送りしますので、当日ご持参下さい。

**12. 参加申込締切日** : 平成26年9月19日(金)

**13. 参加申し込み先** : 公益社団法人土木学会西部支部

〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目4-12 シー・ティー・アイ福岡ビル2F

TEL (092) 717-6031, FAX (092) 717-6032, E-mail : [jsce-w@io.ocn.ne.jp](mailto:jsce-w@io.ocn.ne.jp)

**14. 問い合わせ先 参加費など** : 支部事務局 (TEL : 092-717-6031, E-mail : [jsce-w@io.ocn.ne.jp](mailto:jsce-w@io.ocn.ne.jp))

発表方法など : 橋本晴行 (九州大学 TEL : 092-802-3422, E-mail : [hasimoto@civil.kyushu-u.ac.jp](mailto:hasimoto@civil.kyushu-u.ac.jp))

## 15. シンポジウム会場案内

鹿児島大学稲盛会館（〒890-8580 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-40）

<http://www.kagoshima-u.ac.jp/about/campusmap.html#korimoto>

### アクセス方法

#### 【JR 鹿児島中央駅から】

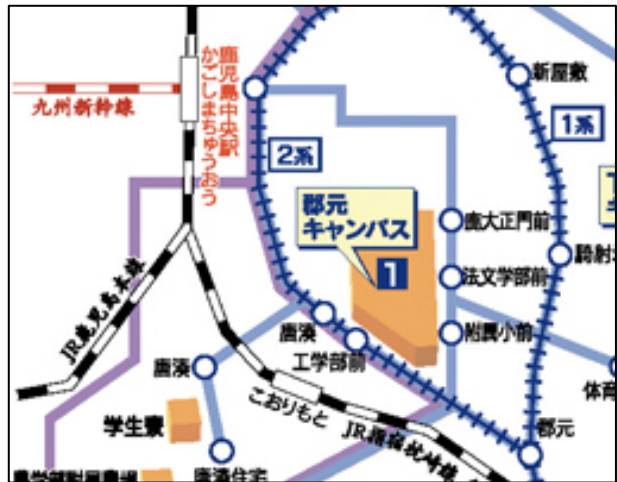
- ・市電（所要時間：7～8分）  
郡元方面行き「唐湊（とそ）」または「工学部前」電停下車。  
料金は降車時で全線均一 170円
- ・タクシー（所要時間：5分）  
鹿児島大学工学部まで 料金：750円程度
- ・徒歩（所要時間：20～25分）

#### 【JR 指宿枕崎線から】

- ・「郡元（こおりもと）」駅下車，工学部正門まで徒歩約5分

#### 【乗用車でお越しの方】

- ・「鹿大正門」「図書館前」の2つの入り口に，ゲートがあります。警備員，または，シンポジウムのアルバイト係員にシンポジウム参加の旨を伝え，ゲートを開けてもらってください。
- ※駐車場は，限られておりますので，可能な限り，公共交通機関をご利用ください。



16. 交流会会場案内

会場名	ジェイドガーデンパレス <a href="http://www.jadegarden.jp/">http://www.jadegarden.jp/</a>	
所在地	〒890-0005 鹿児島市上荒田町19番1号	
T E L	0120-29-1511(フリーダイヤル)	099-257-1211(代)
駐車場	収容台数80台	
交通アクセス	シンポジウム会場－稲盛会館より	JR鹿児島中央駅より
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆徒歩：(ルート1) 約14分 (ルート2) 約10分</li> <li>◆鹿児島市電(2系):たばこ産業前駅下車(3駅 約5分)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆徒歩:東口より約13分</li> <li>◆鹿児島市電(2系):たばこ産業前駅下車(3駅 約5分)</li> </ul>



◆ 鹿児島市電利用の場合

最寄り駅:鹿児島市電 たばこ産業前



最寄り駅:鹿児島市電 工学部前



第7回土砂災害に関するシンポジウム参加申込用紙

9月26日・27日

連絡先	連絡者			
	所属			
	部署名			
	所在地	(〒 )		
	TEL		FAX	
参加者	氏名	所属	懇親会	
			参加する ・ しない	
			参加する ・ しない	
			参加する ・ しない	
			参加する ・ しない	
参加費等	参加費	4,000円× 名 = 円		
	支払方法	現金送金 ・ 郵便振替 ・ 銀行振込		
	送金日	月 日 ( 済み ・ 予定 )		
連絡欄				